

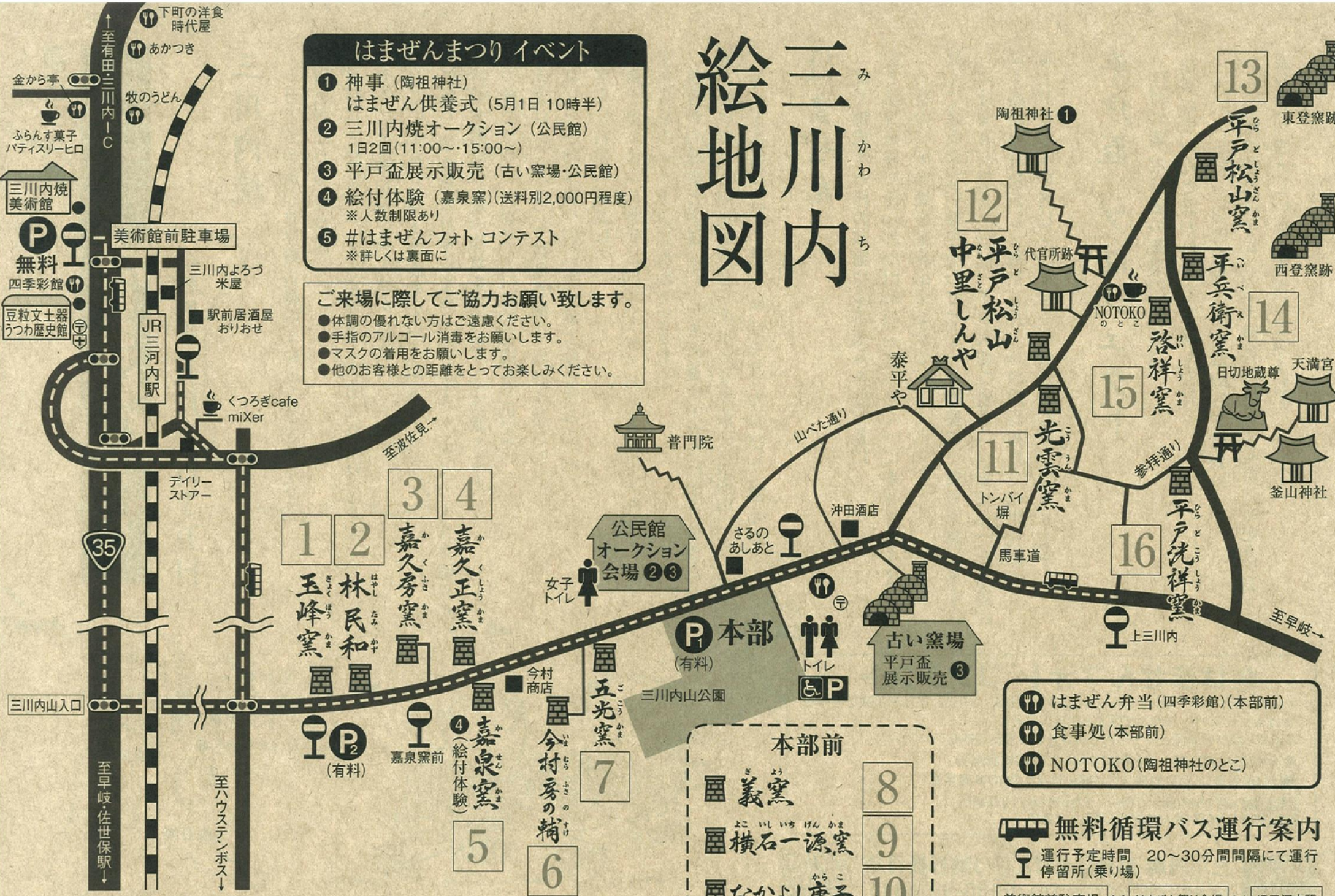
三川内 絵地図

はまぜんまつり イベント

- 1 神事 (陶祖神社)
はまぜん供養式 (5月1日 10時半)
- 2 三川内焼オークション (公民館)
1日2回 (11:00~・15:00~)
- 3 平戸盃展示販売 (古い窯場・公民館)
- 4 絵付体験 (嘉泉窯) (送料別2,000円程度)
※人数制限あり
- 5 #はまぜんフォト コンテスト
※詳しくは裏面に

ご来場に際してご協力お願い致します。

- 体調の優れない方はご遠慮ください。
- 手指のアルコール消毒をお願いします。
- マスクの着用をお願いします。
- 他のお客様との距離をとってお楽しみください。



- はまぜん弁当 (四季彩館) (本部前)
- 食事処 (本部前)
- NOTOKO (陶祖神社のどこ)

無料循環バス運行案内
 運行予定時間 20~30分間隔にて運行
 停留所 (乗り場)

美術館前駐車場 ↔ はまぜん祭り会場 ↔ JR三河内駅

※原則として降車自由です。(運行状況により異なる場合があります)

- 本部前
- 義窯 8
 - 横石一源窯 9
 - なかよし唐子 10

協賛 / 三川内陶磁器工業協同組合・さるのあしあと・ホテルオークラJRハウステンボス・NOTOKO cafe&space・三川内山町内会及び町民の皆様

三川内焼 窯元

はまぜん祭り

令和四年 五月一日〜五日

三川内焼

一万二千年前の世界最古級の豆粒文土器が出土する九州北西部の地 佐世保

縄文の古き時代より土をこね焼き物を作り続けてきたそこに半島からの陶工達が 唐津へ

そしてもうひとつ 大陸からの陶工が 平戸に

これら焼き物の日本史を作り出してきた 三つの大きな流れが平戸のお殿様の 藩の採算を度外視した庇護のもと

この地でひとつになり 白い天草陶石と出会い職人達はひたすらに 技術を磨き 意匠を凝らし

天皇家及び将軍家への数々の献上品を生み出し

さらに白磁の逸品は

皇帝ナポレオンの時代には ヨーロッパにも輸出され

王侯貴族のオーダーにも応えてきた

四百年の歴史と手技そしてその遺伝子を今に引き継ぎ

繋ぎ続けている陶工達の暮らす小さな集落 三川内山にて

さつきの風に吹かれて ゆっくりのんびり 窯元めぐり

はまぜん

窯で焼成する際の収縮による歪みを防ぐ為に

器と同じ素材で作られた円形の「はまぜん」に乗せて焼きます

上質の三川内焼を生み出すなかで

無くしてはならない存在なのですが一度の使用で役目を終えます

「はまぜん祭り」では その大切な道具「はまぜん」と先達に

深く感謝の意を表し 毎年五月一日の陶祖神社での祭礼にて

陶工がろくろを廻し「はまぜん」の奉納も行っております

平戸盃 プロジエクト

江戸の頃 平戸藩の茶事の席などで

使われていたと云われるもてなしの盃

一六六二年に三川内の陶工が 天草陶石と出合い

三六〇年の節目の年に三十六回目のはまぜん祭りを記念して

香りたつ凛々しい盃を再現してみました

はまぜんフォト コンテスト

instagram 及び facebook で開催期間内に三川内焼の写った素敵な写真を「#はまぜんフォト」を付けて投稿して選ばれると

はまぜん祭り参加窯元の三川内焼を買える高価商品券をプレゼント!

窯元が選ぶ 窯元賞 3名様には¥10,000の商品券

♥や👍が多い いいね賞 2名様には¥5,000の商品券

投稿期間 4月15日(金)17時~ 5月5日(木)17時締切

当選者発表 5月6日(金)20時 SNS上にて発表

お問い合わせ

三川内焼 窯元はまぜん祭り実行委員会

長崎県佐世保市三川内町343 TEL.0956-30-8311

URL <https://shop-mikawachi-ware.raku-uru.jp/>

